

当社では、製品およびサービスの安全性を確保し、リスクを最小限に抑えるために、評価と管理を行っています。全ての製品に対して、従業員、お客様及び消費者に対するリスクのレベルや故障の重大性に基づいて、トレーサビリティ手段の文書化を含めた社内、お客様のトレーサビリティ要求事項を確認し、対応可否を検討しています。

具体的には、以下のような手段を講じています。

- 新規設計及び設計変更に伴うリスク評価（FMEAの実施）
- 不適合製品及び疑わしい製品の識別、分別、保管及び隔離
- ロット追跡の要求時間を満たす能力の確保
- シリアル化された識別
（客先又は規制基準によって規定されている場合）

また、製品及びサービスに関するレビューを行い、お客様の要求事項や法令・規制要求事項を満たす事を確実にしています。

■ 製品/サービスに関するレビュー

当社では、新機種立ち上げ及び量産管理において独自の評価システムを活用しています。

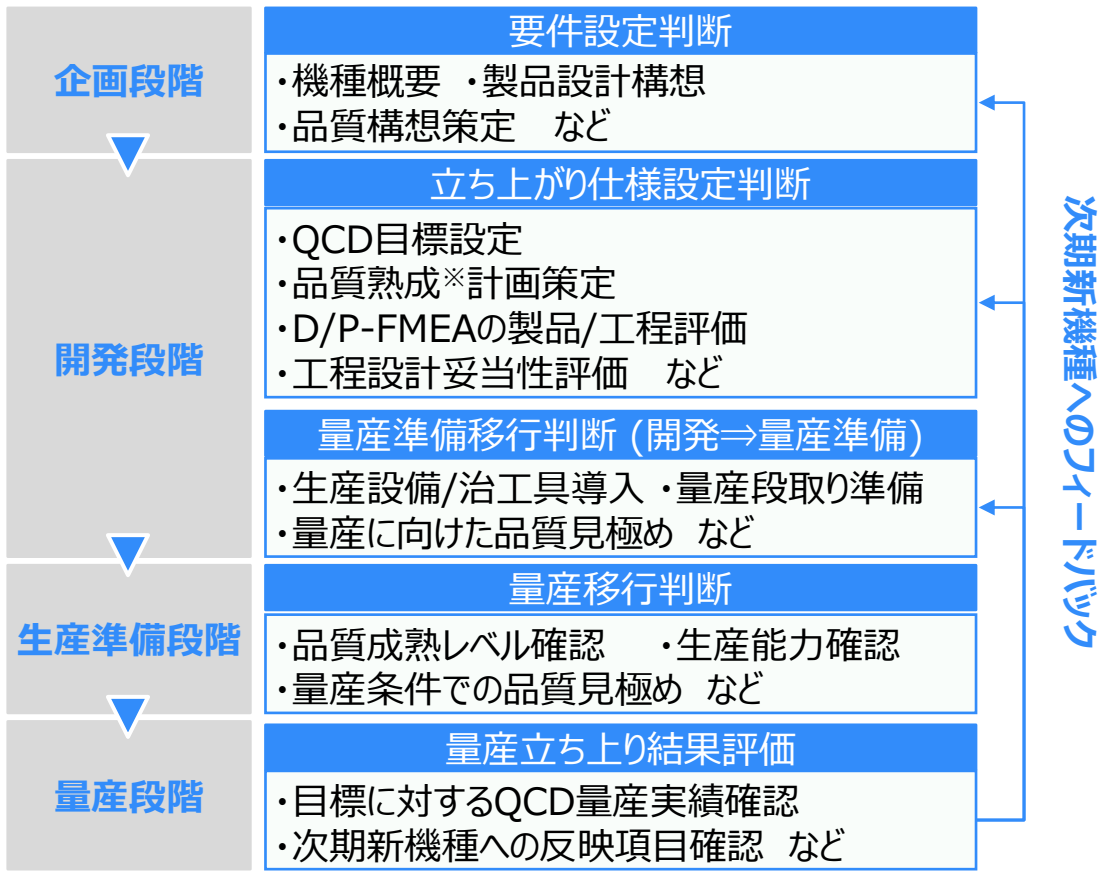
■ 新機種立ち上げ：M-FLO概要 図解（次ページ参照）

国内外の全生産拠点の新規プロジェクトは製品開発～量産立ち上げのフローをM-FLOと呼ぶ新機種管理システムで進捗の管理と評価を実施しています。企画から量産までの領域責任者によって、各段階における準備状況の評価会を実施し、品質、生産能力、コストに関し評価・判断しています。特に品質については、不具合の再発防止・未然防止が十分に検証、対策されているかが評価され、新規プロジェクトの品質を保証しています。

■ 量産管理：M-QCD概要 図解（次ページ参照）

“ものづくり”の更なる強化に向け、国内外の全生産拠点の体質レベルを品質システム(Q:Quality)、工程管理(C:Cost)、生産システム(D:Delivery)の共通観点で客観的に検証し、強みを高位平準化へつなげると共に、顕在化された弱点を強化していくことで企業体質を向上させる取り組みを行っています。

■ 新機種立ち上げ：M-FLO概要



■ 量産管理：M-QCD概要

